

科目名称：	乳児保育Ⅱ	
担当者名：	竹田 亜裕美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
1. 乳児保育1を踏まえ、乳児保育に必要な知識や技術をさらに習得し保育士となる自覚をもつ。 2. 乳児の生活と保育について講義と演習により具体的に学ぶ。 3. 事例検討やグループ討議により学びを深める。 4. プレゼンテーションなどを行い能動的に学ぶ。 5. 乳児保育をするために必要な教材研究を行い、実際にそれを活用した保育実践力をつける。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 聞いたこと、学んだことをまとめ、表現することができる。 2. 子どもの心身の発達支援や対応についての技能や知識を持っている。 3. 教育・保育に必要な知識・技能を高める努力をしている。 4. 保育者としての使命感、倫理観、責任感を理解している。 5. その場に応じた柔軟な対応ができる		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	.
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	.
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	.

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)			60	40	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 25年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解度	授業内容を理解し、乳児保育に意欲を抱いている。	乳児保育者として望ましい対応を理解している。	乳児保育者としての対応に重要性を理解している。	乳児保育者としての重要性が何かを理解できない。
授業態度	授業の内容に興味関心を抱き、意欲的に取り組んでいる。	授業の内容に興味関心を抱き、課題をこなしている。	授業での課題をこなしている。	授業に興味関心を抱けない。
自身の考察	授業をふり返り、自分に引き付けて捉え、自分の考えを導き出している。	授業をふり返り、自分に引き付けて捉えることができる。	授業をふり返り、自分の思いを書くことができる。	授業をふり返り、内容の報告に留まっている。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 乳児保育の基本：子どもと保育士等との関係の重要性	自らの理想の保育者像を言葉で述べられるようにしておく	30分
第2回 乳児保育の基本：個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり グループワーク：おんぶと抱っこ	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについての理解をノートにまとめておく	30分
第3回 乳児保育の基本：子どもの主体性と尊重の自己の育ち グループワーク：おむつ替えと着替え	子どもの主体性と尊重の自己の育ちについての理解をノートにまとめておく	30分
第4回 乳児保育の基本：子どもの体験と学びの芽生え	指定された遊びからどのような学びが芽生えるのかを調べておく	30分
第5回 手作りおもちゃについて	手作りおもちゃのメリットとデメリットをノートにまとめておく	30分
第6回 おもちゃ作り～目標達成のために試行錯誤する～	作りたいおもちゃに必要な材料を考え、準備物を揃える	30分
第7回 おもちゃ作りの振り返り～学びを共有し、さまざまな視点から考える～	作ったおもちゃで子どもがどんな遊びをするか、どんな学びがあるか、どんな配慮が必要かを考えておく	30分
第8回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際：保育環境の理解 グループワーク：環境設定を考える	保育所保育指針（幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領）の環境に関する項目を調べておく	30分
第9回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際：授乳と離乳食について グループワーク：調乳	授乳と離乳食の実際についての理解をノートにまとめておく	30分
第10回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際：沐浴 グループワーク：沐浴	沐浴の実際についての理解をノートにまとめておく	30分
第11回 乳児保育における配慮の実際：乳児の病気について	自身がかった感染症について、その状況とともに家族に聞いておく	30分
第12回 乳児保育における配慮の実際：事故予防と安全 グループワーク：危険予知トレーニング	インターンシップ先や実習先で危険を感じた場面をノートにまとめておく	30分
第13回 実習から学ぶ グループワーク：実習でのエピソードを記述と口頭で伝える	実習時の心に残ったエピソードをノートにまとめておく	30分
第14回 連絡帳の書き方 グループワーク：連絡帳を書く	第13回のエピソード記録を保護者に伝えるために工夫する事考え、ノートにまとめておく	30分
第15回 乳児保育における実践のまとめ（Q&A） グループワーク：子どもの気持ちを考える	これまでの授業内容を見返しておく	30分

事後学習時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業への積極的姿勢 40% 提出物 60%

#### 課題に対するフィードバック

各課題に対して、その都度コメントでフィードバックする。  
最終課題は、希望者には返却する

#### 教科書・参考書

「はじめて学ぶ乳児保育」第二版 同文書院（毎回授業で使用する）  
「乳児の発達と保育～遊びと育児」 エイデル研究所